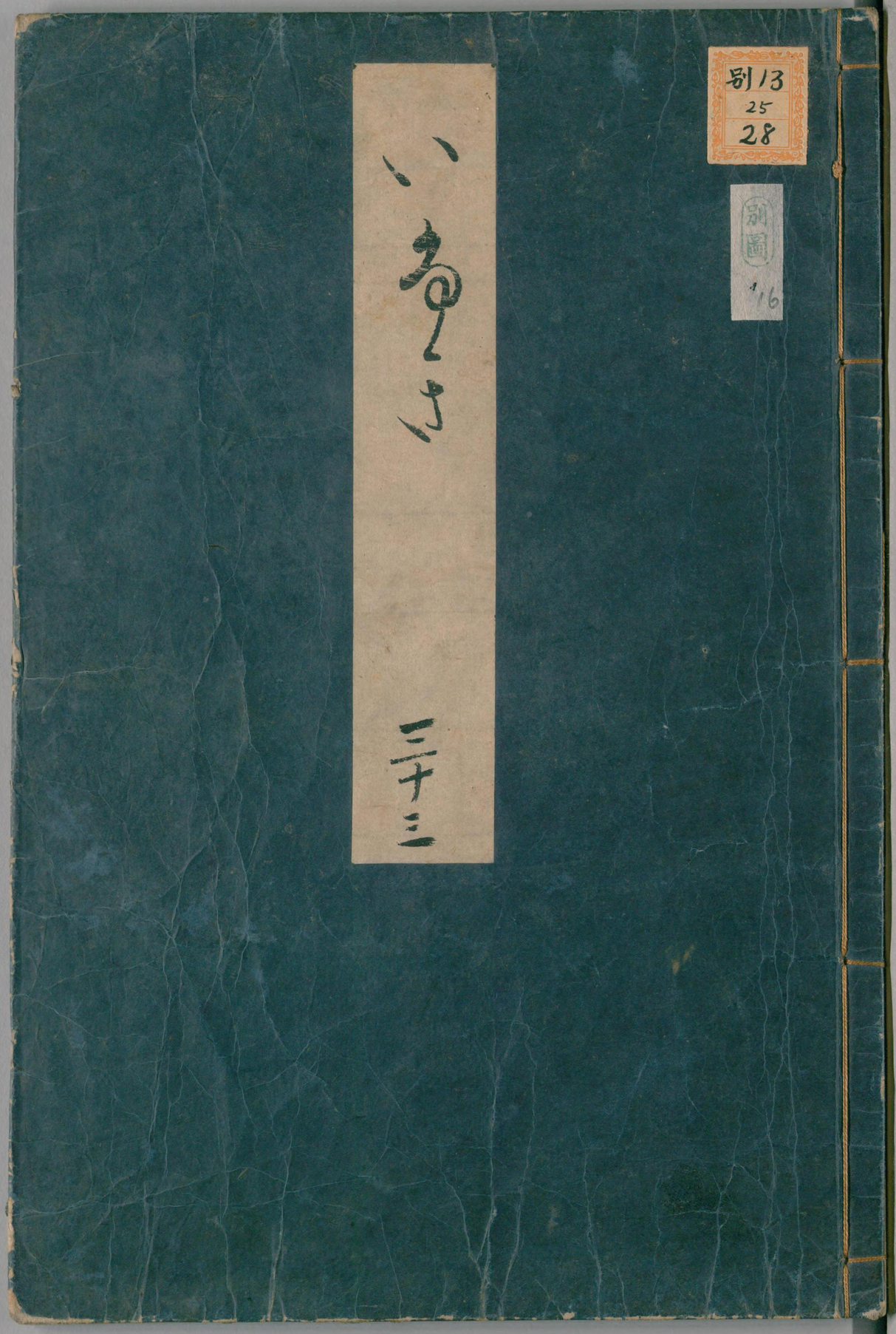


国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

13-28

伊吹

うま
義朝か二男うえ
ともまさ
ありとも
ありとも
ありとも

おんせうとさいはらまれゆをむまみ
めすをおふふをめうさふおかうさ
さとしうゆさろろ　あまうそめ事
なまはさこうおうくおかまをくさうふこねと
ようひをはおろさてりそる
きろはそうせをたえにたるてそおちられ
をろさまともゆこ矢のめいしやうそめろ
梅ふきのそのう表ようひけをきりそる
せくいのちとをみるまうそふその
ようも明をまは今いをひてそうらんおく清

をろうねざうひやうのそのてふう里平こよ
ぎ凡ノ名をらぐさんよう紀ぐい紙
せんとそゆきろふおそぐりをきは
まりうまは花遍一巻とろ門
うふおそしてをひをかうそぐんしやうよ
さうきぐいと思ふさをつさおよ
うまきろとこるそひ入れ
二人はまく京のうさへと紙ウ一紙

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

よみてうけさせゆきうことちくと
うけこ海いまそを持くまを湯をきうんこあ行
田乃あんうまつうこあやこへのりいそや
かうさーあひうりせは春すきやとれ事
るまた人をこそけまのつせく我みあく成
あをとすけるくそこをとり執りあの
うし統してさていこうんめいけきぬりや
ちさくとくまり物うつ城なりとれ
うくしそゆけそう城そうとのつ海ひくをう
そこぬうせ行へそちやうつくちくと

はかうみうりすりりきこのりくを見中
せそまでこうわうきみこりみれまの門をひさ
ちうさすあまでをけふうのりさとれそと
我みをいさてあうるこそあのさこみいう箱
幸まさむけをこは右うい一ほさそちく毎
行こへやちさこそちやうしをうこまくさ
ちくのやうにおすへさこのさこを一まの
おこさちやと田ひてこのみを一まこまり十
又字よゆひかくけとものおこそうきお
せうへうみうこのおうけてこやこへをの分

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

らすりかく田をさしそうちいるをけ一
とそやしまろ いくりてあとまりを
よろい法師のちねかたなのちうさをそれと
してみ十余人だてをつきあやまひ
人よそまきくとをつうちうち左目にそうを
さ紀にそわうかをあとをかはそくまつく
見をねまよりさこらは肌内れ百姓小原
乃さてかをねをうたまとやそもの

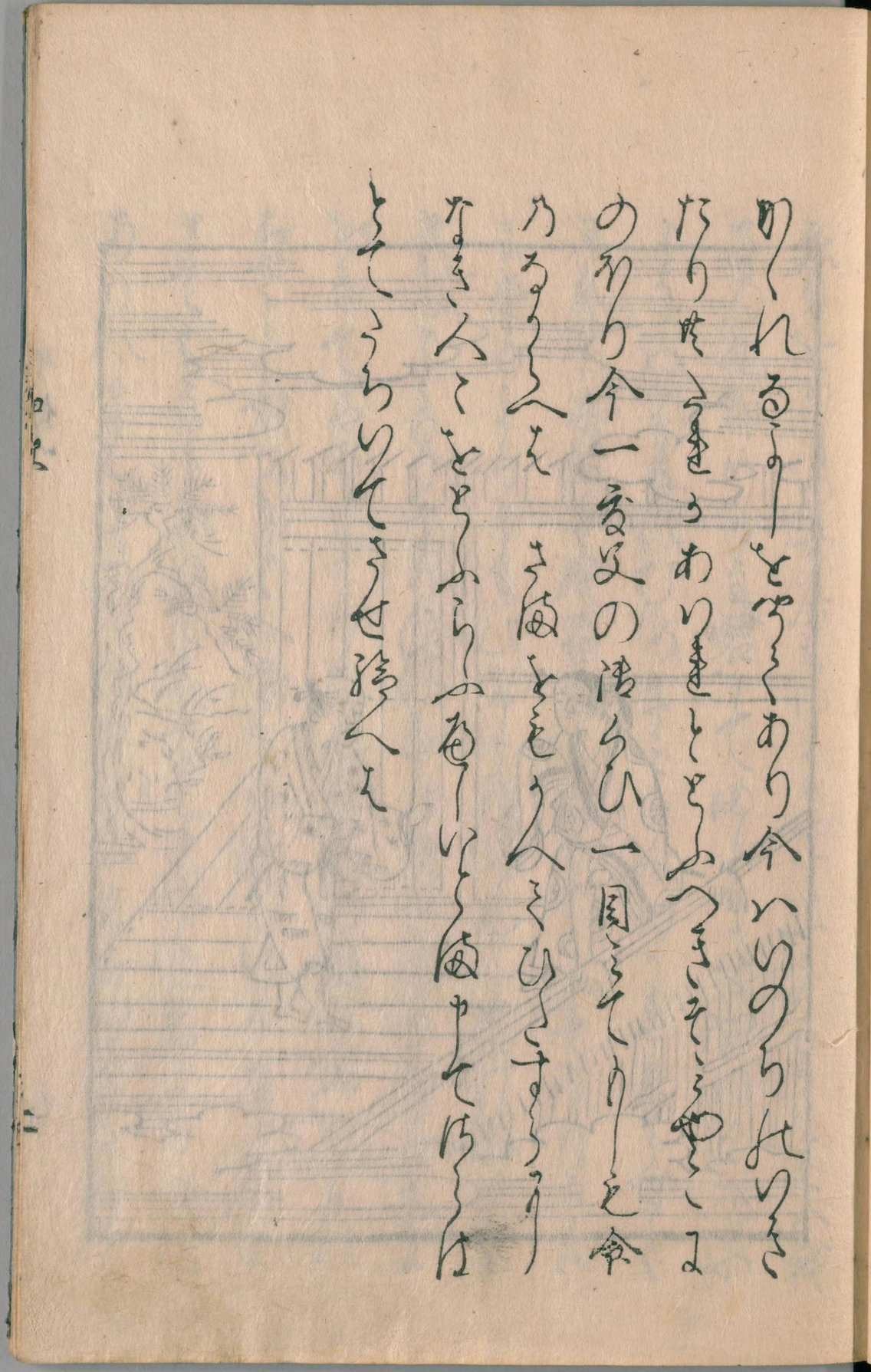
国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

らさんのらうしゃ
坂本へ来るものりそはなら湯人いひさんへ
さかさまおまつおとゆりありうそうしてをんせ
為へ座と言ふのけてをりすをを　うくて
うをもいつて田よの里は私よめられむうひ
乃地へとやくきまたちうふ及そんをひての者
とをいみおさうりてをそうりそのうち
来うしうふあ色こうこ田色八来〜せ
来うん様うのこ一えうのみ孫おさ分様さう
あさ法まよ乃をまふありうのこは角をいうおと

来くそのみは法こ十さんと　そ里よりを法
まを　ううううり　くさ
我言而ていりりてあ〜ふ後の月様をく
里しをめくたかりまう次来うの　あう時
来あうしゃまりみあまうま里の川く様さして
はいてそさそ法んさ〜のとろ色をうりとく
けゃへて　私私ふうきこめしさして私
色をうこをうの川をのの里ありたあそまと
云人乃あうは来をそなんとそおかせをの
左司ふうしうけう後りり我みのの郎をう

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



元日をりめ女房もはつ
まの丸前めり豆君そ
ようにいそるれむめまこ
まきこの松と成るまとたなてよそうるさ
よまりよりもひらん
やまこころりをひきり球とくめをくそよ
をきてそおーうりるん多(の)淀の國おふもれ
ちおこしやうまへをくいろるん世
きてもうこかりそもて
あり八まんとものくはかと

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

きなりうきさこのやうのかうみよ云ふとのよ
とうすうそみきのようをいてさそこの
かうる城ろへまそそ
わう男いまさはうへりみそおこうう
所まそそこへのかり法ひきうんさ
こそおそまる事さそを云さうのはおみは
へくみけちやう城をこかりう法平典陳むも
きよおは善法乃國さうの城と海りまうう
くうりちういまはたうりうをと綾うとて教胡
まのうおふおそうさんおちのうさ也
法ふていおやしく思ひやとて差ひきおく
兄や也たう里とをゆくおもまんてんれお
こふ男うこさとて所こくいけさうまうこの
乃國へをくらすいそ
こさとのよ余りおのようーかくとや止るきよ
もりやらさまそこそ家をそよんをてんの
まそこさろうまやうハくこのちゆくゆふ
よこもいこさまね恐源たこもおりいさう
きりぬようとるをはいけこうぬいまも統う
のこ里ねて年家りてき

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

教ゆるさうろうてまつれる古刑部の仏真
おもりやうさーおひなり佛事をきて切へて
そのなひとさむなよきよふおあんくろそ　宗法
教朝をあんうやいくかうぬまあうりい
ゑさうこそるうくおそまゐうしやうこそ
のくさうせんくきゑこの海ようひ球そのこ
華里いまこようちよ海ーまも也とちまうーや
あて此在あまた日秋よ法海をこうをあう

つきうこのふうあは
おようくよおふくさ紀ふ人一川ちちを
よまきまふへと一ふよふうちまへそ称
きよ馬称うそをあのよ球形うう人
のたうあはおそきうかまあとるけきの法るう
あまかとるけきの法るう
とこふうのふさーをけ千もれ称佛さ
こそうわくおやもんくを毎ーくをみむ
きよういけそうまいうせそうきめ球そうか
あーさよこふ姫とうふうひうふさ

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

ぬりひとなりよろ
ありあるかそまふますまんとろへむ称さよ
ふう梅まりりも城まくめやせるものさふ
ふんまぶりりわうきんまでゆまでせ門
りりはあ物をるくさめもと男ひいふ
新勅やまた古判歌あう
そうりの佛事一杯ひなりそかう
犯罪乃人ともろひとたくと兼う雑さう
はまをようそうはめいもん三升ぬ
落西ゆまん仁和もるのをいうんりまり

ふさいろるさるともまるれ罪いまはふ
屋すぐ打消めせとい門りをうーやせた
新勅ろうめありうなりむ称さよ奉
をおくそようとをうおけくまていう死そ
そよむりい源平女家とそうのふう門ぬ
羽うひふる屋のまやうまのとくまでをと
まぬさりろるくしまふ下ぬまりとろうう
せんせいうう裏まくばりひまるふらん
ちくおふくさを豆人ひう門まちをこ生ま

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

むとひ妻一ろうそたちを今東をひさけ
のむへきもとものうくをまり路へやとなけく
きーをもまーまさすしるとも給きろひ
ろくいくをきんすさこつろうあまり男へそ
あろなーふうんやあろうとものは給なりむ称さよ
称うんちくの乃をうそ城とりおーてまろう
せめくろあろう去のろそるの妻そうてう
に称をおくもの川うんらく城あそそーう表
そのうへの乃あけきゆはくらうんらくをあそ
りむ称きよも称うをまうんゆいおさへ

かふーそひを一めんとく一ちうおいくう
称うちうよしく城をーあけけ　我男をひて
乃を城あもせちをとけうくひきまけ
女房なくろうふすとろ十二九まん城えり立
ぬ乃をうをうけまりあまふつけうれ
うハものうさをたろわをれもふ
なくさくろひまり

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

よもかのくとゆうふかに
をおて向すまえ教約を今月きうへ
ありひそこをとうひそめ 教約よいうき
はきよくる里外のあいを知て
なやうふかのおひまうの男ひまうけうう事
なまえいまさうあけくふかくめく
ふひをは知ち残ばけうひて
うひ給へ も称きよを納うをうのうれ
うあと思ひをまた三十三数れくとまひ
をとりいうきのよまそ一ほうとふら

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

百勝(ももかつ)の武勇(ぶゆう)の誉(ほまれ)といのりし一業(ひとわざ)を
又六てうりのようをとのちと
なさむ事こそかなしけれ
月うくまてくらのうちも刀をさして
あくるきすてあくさまでふうぬとけ
けたりきやうをいせさうせまいの
のひとへそそめさせ移りぬきうおかくち
かさのうち里まうみはなりとてこうてれ
なもをうけやむ称きよをいて
のなもかとう住くそまく人を一ものの一

河乃あくむ事を名やうのきろんとうけ
屋りろのこんちやうわれきろんう
まいりのひそて今さうきめをとう事よ
はそろねをるくふうぬ首を
めされ乳名乃はいのちをしやとまうてあるさ
重の紀かくまてまあそ三年
まりようをさやくちものうちあそそも
きさこ一ねんいえのうめくく
いまよ一年い我うあとそくあそ

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

三川乃そとをこゑりの川をしくとやま
このもかのむかひあをかきみをうきね
ともろわいのけものくさむらうるうしまり
とやてみ一八てうよそらてゆきみるしまよ
きうたう三川乃そとをなたらねけものと
やい古刑部きうこそおもひ一れ人
なりおりみえんよ海まも志う能そそそ
そそとひ給ふこまきこまをきみ
乃そそそ那ろとやめうらんしてん

しそめくせきろういやう自筆なるとやしく川
みるそそ向給ふ十三とやしくまり
をまきろうかおてるすくんそまろやう
そんおほといふをあすくれうめい
もむなりなふしく我法無おろらいしやく
志ちよういせんこう一ふんみるかちんせよ
一方志もしやうあのまんのそろる我むもも
あうよろこのうこ法をろくみ
こいせんこう我一ふんを我ゐかとくめすす
宮乃成生にやとあまひけあれ

めいをんるりひてとうき
ていくあのへきくろ
いそけ供せよむ称きし
あへをたてう河あみ
をつそのろんくむ七八十人うなりみて
除又右るのせうるそ
なんもせのをよ象の
ひきいくをさるなのひ
をおひけまたうい
もうへをもむけは称
多我ありせ言参小会
法華をんまちもう
乃をて多のろる面の
ものなろうゆくと
きらよを人おちせそ
巫述む称をよむち我
一赤にあとろいきし
よりもきろるる
うくるまり左うく
とのむ称きよいう

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

一とひおはらふおぬれとさんと
うらあけろ面のもちおふう今あろひおち
むとし終ふ我きん見にそ面なる内車れ
とふ我見付ける面もうのまる夫ちより夫婦ふう
そうたう因へこもむく面ま
とゆひ我さんろへ出てみかか
きんとせ〳〵とき八幡のちろひうやうらう
りうみそうけうれ
あひ

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

うちをうつくしうするわざ
なともしくとするものふくろ
ものをせさうちふりけ
ろひおちおひおもとも
くるゝ時ふうちのをりとめ
いまゝをよをさゝまつあ
くゝとるさおふ軟的
をとよすうち付ゝしく
ようくたゝふまゝ
ちんろてふまうむまん

おてゆくへうしをた乃綿地の地ざこれ
しゆくちゆう城かうまゝうふうてかくうん
みさんまいゝまもりうけすくひあけな
けむてこおふもあまかゝそありけるん八
てうとものよ地らうくまんふんやうをさう
てをたゝとのにまのりきよありようくと
やけまゝとうきらぬこそみくまゝそれこう
くまいとゝをさゝまくまの判
りくふ城めてるんちハてうとのふまり

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

ゆへき事ともちうちをそうとものを在
いけるものうまのうせいを事ハ
てうかうにようひゆはうんたるうふをね七
事ハ八事うとてそうちうはひけきうとていい
此今夜ようともさいけいんをいくゝ一時
嬌子(きやうし)(ひん)ゆ添たゆもゆうらを二男ともなうゆを
ゆうらを三男教ねよゆうらゆうやうは
却而そ事なうのうけとものくはあうしゆうり
よりくうよおりて治ゆ平安ゆたうう
うへてをはうひを三面へをいけとの

国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

さうめされてうりとをにうくと物をまた
う里とるやうなあう物の花なの幸たやいへよ
物りのてうかうを命ぜおしみいふとしてて
うう紀のてふまさうんと思をまけのなひさ
とうくそのををのう海りの物きうりあり
おそうまいのうちたふをるまうはたうをは
をとめくおへて共そうくうよはまりせさふひ
てありのまくはられよ教約きふえそおか
めうむいうふきねをまた山志れのちゆうちん

うりとひけきうをまた善法のふあふなる此長
者のそとふあ川けを紀いとありのまくみそ
のおひまうけとものはうろひまくふそう
へくとおもをまた六そうよりほをそそ
二川のたうく我めいくて二川のた
うう平家ふおさまうるきみくそうを小松れ
うふの恭せうはおうううう法ちあうかな
もきんのあうう也源氏方よそうてう
うらとなるうるきれ平家方ふ川なうは
ちやうけをなうまをうらとうう事ひまし

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

うやう旅へとそそのかしければ源氏へうくへされ
ねりさうそもよもとをもをはいりうるん波潟へ
をるうしもしるへと旅をり一篇のうひみ
りせのくふあさの浦とそ旅やちこまりけとの
やねこさのしをとりあせりせをいしの郡か
くてかるふ雨と郡せきり二篇れさひ
みは伊豆乃国やうてうひうあしを
こうりてをとて旅まちうかきはよくそう
きんの添ふりをすうふよりなうとやて
生年十六歳りまうう歳をまちくめされ

いふもりるうよ軟物うとそをして伊豆れふ
よくくりてうせきこやつへしそうれ
幸をあるるくはいそ紀まにちうせよ俗
乃幸うてあるるうさ紀よくう
をさま　あくをはとふてとうをしいふ
うりとをひまよとも我をいおやと思ふし
旅男をそ子花郎をそふそるむやをかれうち
うこ乃亜八幡大りさう軟朝の法まう坂あん
をんふまりう旅人をとうろをそうさ城郎ち
みう旅ふ軟物を立海りかしまうせおひまり

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

はまおふとう親ふそ
ると　さうかふ軟的
侍臣乃ふうくう
そ二十一年乃春秋
うやはるふ源氏一
てせめ　しそうろい
むえとうあえんされ
うくも也とるまうおき
うひ宣下をおさめ
乃れちうひとそそ

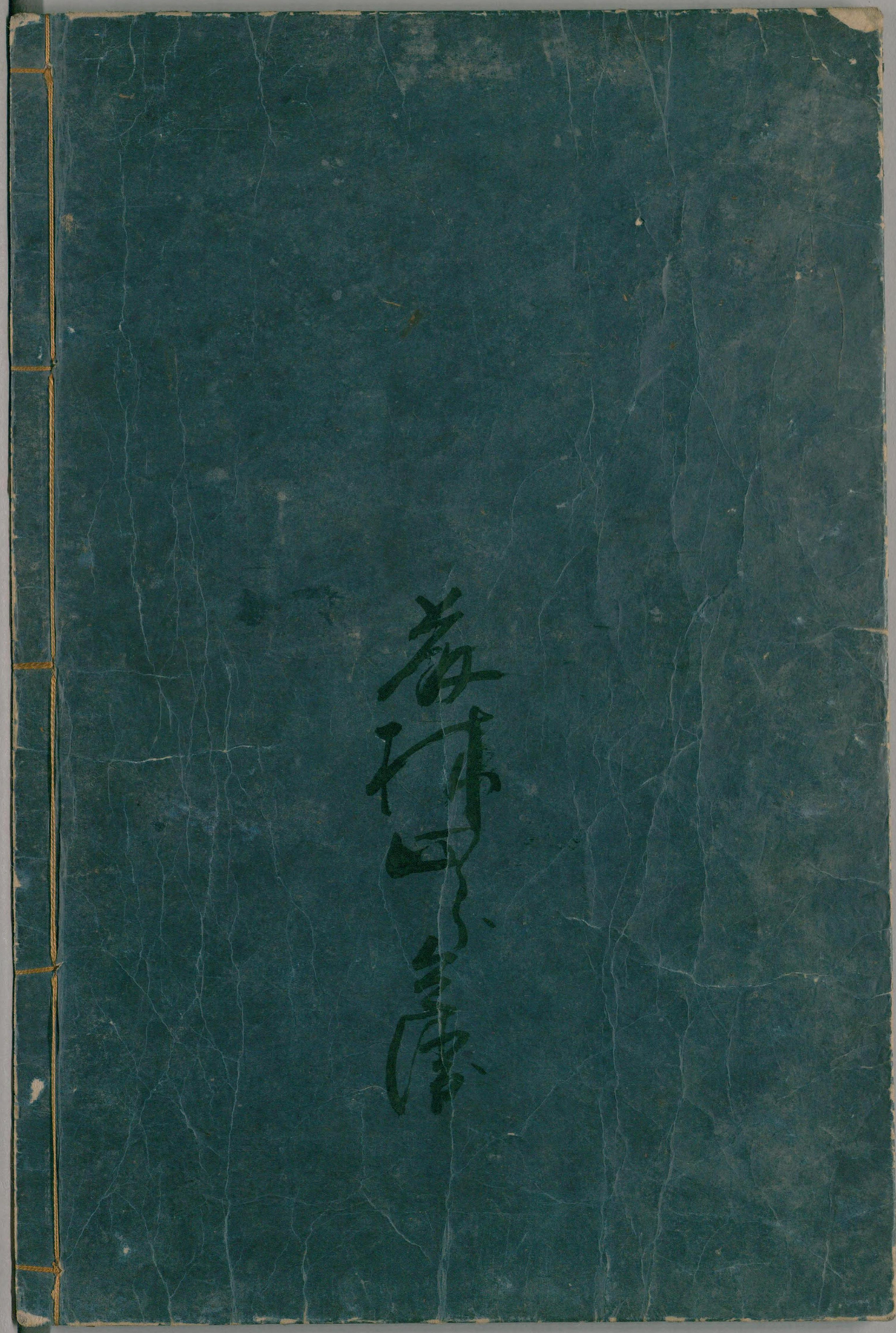
国立国会図書館　タイトル『伊吹』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

別13
25
28

国立国会図書館　タイトル『伊吹』 請求記号 本別13-28

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『伊吹』　請求記号　本別13-28

ガラス使用